



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月8日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL http://www.sbs-group.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 掛橋 幸喜 TEL 03 (3829) 2222
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	32,266	8.2	674	—	570	—	390	—
25年12月期第1四半期	29,832	△3.7	△63	—	△195	—	△156	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 460百万円 (90.3%) 25年12月期第1四半期 242百万円 (△55.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	30.06	30.01
25年12月期第1四半期	△12.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	108,398	29,245	26.7
25年12月期	108,354	29,265	26.7

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 28,953百万円 25年12月期 28,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成26年4月11日付で公表しました「株式分割、定款の一部変更、および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成26年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を予定しております。これに伴い、平成26年12月期(予想)の期末配当金は、計算上13円33銭となりますが、1円以下の端数を切り上げ14円00銭とさせていただきます。これは、前回予想の1株当たり期末配当金40円に換算しますと42円となり、実質2円の増配となります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,000	1.9	1,100	56.5	900	68.5	500	235.6	12.84
通期	135,000	2.1	4,600	11.1	4,200	10.5	2,500	59.1	64.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成26年4月11日付で公表しました「株式分割、定款の一部変更、および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成26年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を予定しております。これに伴い、連結業績予想の第2四半期(累計)及び通期の「1株当たり当期純利益」は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	13,204,400株	25年12月期	13,204,400株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	197,615株	25年12月期	221,215株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	12,991,209株	25年12月期1Q	12,772,202株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成26年4月11日付で公表しました「株式分割、定款の一部変更、および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成26年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を予定しております。これに伴い、配当予想額及び連結業績予想の1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益の向上や雇用情勢の改善、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による生産や消費の拡大がみられるなど、デフレ脱却に向けて緩やかな回復を続けております。

物流業界は、消費税増税前の駆け込み需要によって荷動きがひとときわ活発となったほか、荷主との値上げ交渉が徐々に進展するなど久しぶりに活況を呈しました。一方、需要の集中によってドライバーや車両不足による機会損失、備車料の値上がりが見られ、加えて電気料金や燃料価格の上昇などのマイナス面もあり難しい舵取りを迫られました。

このような環境の中、当社グループは、当連結会計年度に策定いたしました平成29年度までの4年間の中期経営計画「SBS Growth 2017」の初年度として、目標達成に向けて事業戦略、投資戦略、グループ経営基盤整備などにグループ一丸となって取り組みを開始いたしました。

事業戦略では、新規受注の大幅拡大をめざし提案営業を強化する一方、駆け込み需要による庫内作業増や配送トラックの増便、スポット輸送に対応いたしました。新規業務では、大手食肉加工企業向け3PL業務の開始、大手百貨店が運営する通販事業や食品宅配事業向けのセンター業務を関東と関西で相次いで稼働させました。需要が高まっている人材事業は、営業所の新規開設や整備に着手し人材確保と営業強化に努めました。

海外事業については、ASEAN地域での事業を加速するためシンガポールの2つの現地法人を1月に合併したほか、同月シンガポールでコンテナ輸送を手掛ける現地物流会社を取得し、フォワーディング事業に加えて同国内での輸送事業に参入いたしました。

投資戦略では、前連結会計年度より開始した太陽光発電事業第1次計画の最後となる西日本ロジスティクスセンター屋上での設備工事が3月に完了。稼働済みの4箇所と合わせて出力規模は5.4メガワットとなりました。引き続き第2次計画として当連結会計年度中に7箇所設備投資を行い、新たに2メガワット規模の発電を開始する予定です。

これらの結果、売上高は322億66百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は6億74百万円（前年同四半期は営業損失63百万円）、経常利益は5億70百万円（同経常損失1億95百万円）、四半期純利益は3億90百万円（同四半期純損失1億56百万円）といずれも赤字から黒字に回復いたしました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(物流事業セグメント)

物流事業では、食品関係の3PL業務や新規センター業務が立ち上がったほか、消費財、飲料、日雑系を中心に消費税増税前の駆け込み需要による物量の大幅増加があり、特にSBSロジコムやSBSゼンツウ、SBS即配においては、センター業務や輸配送業務などが多忙を極めました。これらの結果、売上高は299億73百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は1億92百万円（前年同四半期は営業損失4億9百万円）となりました。

(不動産事業セグメント)

不動産事業は、前連結会計年度に賃貸用不動産施設の一部を私募ファンドに譲渡したことによる賃料収入の減少影響を受けて、売上高は6億18百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は3億39百万円（同6.4%減）となりました。

(その他事業セグメント)

その他事業は、人材事業、環境事業、マーケティング事業が堅調に推移したほか、太陽光発電事業も加わったことで、売上高は16億74百万円（前年同四半期比30.2%増）、営業利益は97百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,083億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。

資産増加の主な内訳は、受取手形及び売掛金の回収が進んだことなどにより流動資産の減少3億93百万円があった一方で、車両の入れ替えならびに器具備品購入などによる有形固定資産の増加により固定資産が4億36百万円増加したことによるものであります。

負債は、791億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主として、短期借入金の純減など流動負債の減少26億71百万円があった一方で、長期借入金の増加など固定負債の増加27億35百万円によるものであります。

純資産は292億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主として、四半期純利益3億90百万円の計上や為替換算調整勘定が92百万円増加した一方で、配当金5億19百万円の支払いがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が予想以上に強かった影響などにより、売上、利益はともに好調な結果となりました。

しかし、今後、駆け込み需要の反動による荷動きの低迷、備車費や燃料費などのコスト増加が予想されます。これらが当社の売上や利益に及ぼす影響がどの程度か、現段階では推定が難しいため、平成26年2月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想は変更いたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,339	10,198
受取手形及び売掛金	16,173	15,082
たな卸資産	7,583	7,594
その他	5,613	6,443
貸倒引当金	△46	△49
流動資産合計	39,663	39,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,491	36,545
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,796	△22,066
建物及び構築物(純額)	14,694	14,478
機械装置及び運搬具	16,455	16,565
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,431	△12,267
機械装置及び運搬具(純額)	4,024	4,298
土地	36,170	36,173
リース資産	3,582	3,582
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,359	△1,285
リース資産(純額)	2,222	2,297
その他	3,456	3,568
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,549	△2,584
その他(純額)	907	984
有形固定資産合計	58,019	58,231
無形固定資産		
のれん	909	959
その他	864	901
無形固定資産合計	1,774	1,861
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,100	9,234
貸倒引当金	△203	△199
投資その他の資産合計	8,897	9,035
固定資産合計	68,691	69,127
資産合計	108,354	108,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,721	7,818
1年内償還予定の社債	286	286
短期借入金	18,255	14,461
1年内返済予定の長期借入金	9,416	10,166
未払法人税等	312	205
賞与引当金	660	1,351
その他	7,316	7,008
流動負債合計	43,969	41,297
固定負債		
社債	888	760
長期借入金	20,709	23,747
退職給付引当金	3,479	3,473
その他	10,043	9,874
固定負債合計	35,120	37,855
負債合計	79,089	79,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,902	3,902
資本剰余金	5,511	5,527
利益剰余金	19,468	19,339
自己株式	△205	△183
株主資本合計	28,677	28,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	323	291
繰延ヘッジ損益	△23	△14
為替換算調整勘定	△3	89
その他の包括利益累計額合計	296	366
新株予約権	8	8
少数株主持分	283	283
純資産合計	29,265	29,245
負債純資産合計	108,354	108,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	29,832	32,266
売上原価	27,521	29,330
売上総利益	2,311	2,935
販売費及び一般管理費	2,374	2,260
営業利益又は営業損失(△)	△63	674
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	18	8
持分法による投資利益	22	69
その他	31	31
営業外収益合計	75	110
営業外費用		
支払利息	143	135
投資事業組合運用損	22	48
その他	41	30
営業外費用合計	207	214
経常利益又は経常損失(△)	△195	570
特別利益		
固定資産売却益	41	30
その他	0	—
特別利益合計	42	30
特別損失		
固定資産売却損	5	8
固定資産除却損	14	1
特別損失合計	19	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△172	590
法人税、住民税及び事業税	147	238
法人税等調整額	△152	△34
法人税等合計	△4	203
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△167	387
少数株主損失(△)	△10	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△156	390

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△167	387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	313	△32
繰延ヘッジ損益	12	8
為替換算調整勘定	81	96
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	409	73
四半期包括利益	242	460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250	460
少数株主に係る四半期包括利益	△8	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,863	682	1,286	29,832	—	29,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	2	84	128	△128	—
計	27,904	685	1,371	29,961	△128	29,832
セグメント利益又は損 失(△)	△409	363	△11	△57	△5	△63

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△8百万円及び各報告セグメントに配分していない親会社(四半期連結財務諸表提出会社)に係る損益3百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,973	618	1,674	32,266	—	32,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	2	73	124	△124	—
計	30,021	621	1,747	32,390	△124	32,266
セグメント利益	192	339	97	629	44	674

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない親会社(四半期連結財務諸表提出会社)に係る損益41百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。